

入間JC新生ビジョン

1. はじめに

私たち社団法人入間青年会議所(入間JC)は、1977年の創立以来「タブーへの挑戦」や「夢」といったテーマを持って時代のときどきで社会に必要とされている活動を行ってきました。現在、地域の方々に発信している事業として入間万燈まつりでは市内に暮らす方々の融和や郷土愛の醸成を目指し、そしてわんぱく相撲では子どもたちに礼儀や相手を思いやる心を育むことを目指して活動するなど、事業を通して社会の課題に取り組んでいます。それと同時に「個の基盤の確立」や「まちづくりができる人づくり」を目指し、メンバーの資質向上のための研修も積極的に行ってきました。さらにここ数年間は、入間市と狭山市との行政合併や社団法人狭山青年会議所との統合による新しいまちづくりを目指してきました。結果的に行政合併と青年会議所統合共に実現せずに終わりましたが、地域の将来を見つめ直す良いきっかけになりました。

そのような状況の中で私たちは本年創立30周年を迎え、今まで以上に地域に貢献すべくこれまでの活動を見直し会員一同で議論を重ね、これからの活動の指針としての「入間JC新生ビジョン」を策定しました。当ビジョンは、今まで入間JC内部で議論されたこと、今後のまちづくり、あるいはJC活動において必要であると思われることを取りまとめたものです。

新生ビジョンの中では、入間JCの目指す永遠のテーマとして「夢あふれるまち」を掲げ、それを実現させるために今後の10年間は「真に自立したまち」という将来像を目指して活動していくべきであると規定しました。そして、その将来像の実現に向けた意気込みを「新生」という言葉で表現しています。この地域を「真に自立したまち」にするため「まち」への意識をさらに高く持ち、新たに生まれ変わる決意で活動していきます。

2. 入間JC永遠のテーマ ～夢あふれるまち～

私たち入間JCは「夢」をテーマに活動を展開してきました。入間万燈まつりの際には夢半纏をまとい、市庁舎に夢文字を掲げ、各所に夢のぼりを立て夢あふれるまちを訴えてきました。夢を持つことやその夢に向かって努力することが「活力と元気」をもたらすと考えたからです。

このたび、私たちは「入間JC新生ビジョン」の策定にあたり「夢あふれるまち」を入間JC永遠のテーマとして目指すことを決意しました。チャンスと可能性に満ち溢れ、子どもや若者から高齢者までの地域の方々が希望を持ち夢に向かって暮らすまちを目指し、そんな社会の実現のために今まで以上に積極的に活動を続けていきます。

3. まちのビジョン ～真に自立したまち～

私たちは、入間JC永遠のテーマである「夢あふれるまち」を目指すために「まちの自立」が必要であると考えます。そこで、10年後のまちの将来像として「真に自立したまち」を目標とすることにしました。

(1) 真に自立したまちのために

私たちは、「真に自立したまち」になるために地域経済の活性化や行政の自立などの財政的な自立に加え地域の方々がまちに目を向け自立することが必要と考えます。

夢あふれるまち
(入間JC永遠のテーマ)

真に自立したまち
(10年後の将来像)

強い自治体
(財政・権限)

市民の自立
(協働)

地域経済の
活性化

郷土愛
(まちづくりの基礎)